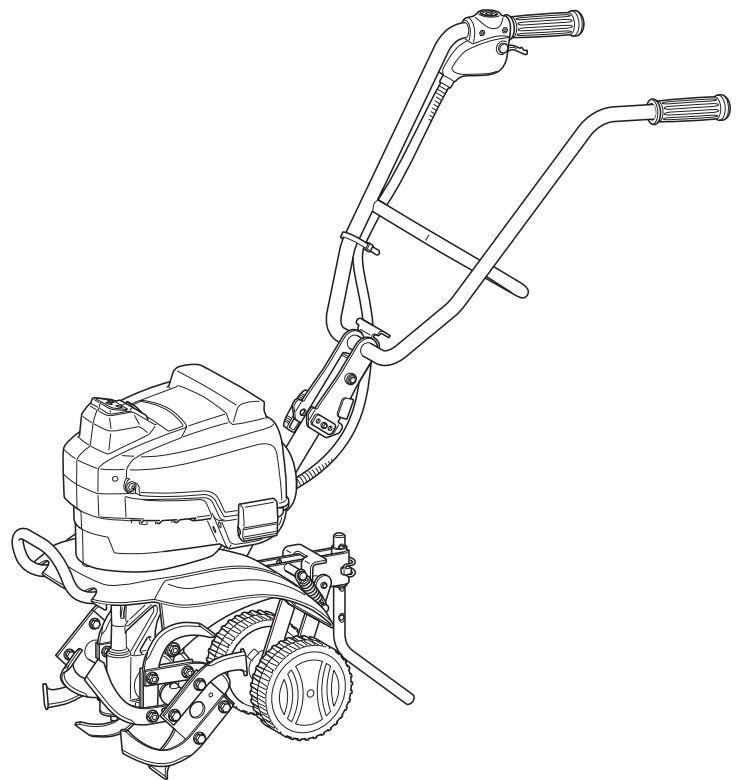




取扱説明書

充電式耕うん機

モデル MUK360D



このたびは充電式耕うん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



充電式耕うん機重要ポイント

1. 持ち運びをするときは、
主電源スイッチを切り、バッテリーをはずします。
2. ほ場へ出入りするときは、あぜに直角に走行します。
3. 点検・整備するときは、必ず主電源スイッチを切り、
バッテリーをはずしてから行います。
4. 補助者と共同作業を行うときは、合図をし、
周囲の安全を確認します。
5. 作業や移動をするときは、急発進・急旋回をしません。

正しく作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要ポイントは上記のとおりですが、これ以外にも、本文の中で作業上ぜひ守っていただきたい事項を⚠️を付して説明しております。

よくお読みいただくとともに、必ず守っていただくようお願いいたします。

重要なお知らせ

- ・ 本機は、畑の耕うん作業機として使用してください。湿田では使用しないでください。また、改造や使用目的以外の作業はしないでください。
- ・ 改造や使用目的以外の作業をした場合は、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）
- ・ 当社は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかった場合や、本機を改造した場合、あるいは運転・保守作業にあたり、通常必要とされる注意または用心をしなかった場合に生じた損害または傷害に対しては一切責任を負いません。
- ・ 本機は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。この耕うん機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- ・ 本耕うん機を譲渡又は貸与される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書を本機に添付してお渡してください。
- ・ この取扱説明書の内容は本機の改良のため、予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本機とこの取扱説明書のイラストとは異なることがあります。またイラストの一部は、耕うん機内部の説明を容易にするために省略していることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに「お買い上げの販売店」にご注文ください。
- ・ さらに詳しい情報を必要としたり、質問があるとき、または内容につき不明な点がありましたら「お買い上げの販売店」へお問い合わせください。

安全にかかわる表示について

本機を安全にお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作・保守を行ってください。また、本機で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルを貼付しています。取扱説明書および警告ラベルでは、危険の程度を表す方法として次の表示で区分しています。

■表示の説明

 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注意	その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。
注意	その警告に従わなかった場合、装置の破損、故障のおそれがあるものを示します。
補足	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

■図記号の意味

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味で区分しています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (爆発注意)
	禁止行為	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (火気厳禁)
	強制行為	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (メガネ着用)

目次

重要なお知らせ	-3
安全にかかわる表示について	-4
目次	-5

1. 安全作業のために

1. 1 使用上のご注意	-6
1.1.1 運転者の条件	-6
1.1.2 作業をする前に	-7
1.1.3 作業中は	-8
1.1.4 トラックや自動車への積み降ろし	-9
1.1.5 バッテリーの取扱い	-10
1.1.6 点検・整備	-12
1.1.7 保管時は	-13
1. 2 警告ラベルについて	-13

2. 保証とサービスについて

2. 1 商品の保証	-14
------------	-----

3. 各部の名称とはたらき

3. 1 各部の名称	-15
3. 2 製品の組み合わせおよび標準付属品	-15
3. 3 開梱後の組立について	-16
3. 4 各部のはたらき	-17
3.4.1 主電源スイッチ	-17
3.4.2 ロックオフボタン	-17
3.4.3 スイッチレバー	-17
3.4.4 バッテリー切替スイッチ	-17
3.4.5 キー	-18
3.4.6 抵抗棒	-18
3.4.7 移動用車輪	-18

4. 作業前点検

4. 1 点検項目	-19
4.1.1 運転する前に	-19
4.1.2 運転して	-19

5. バッテリー・充電器について

5. 1 バッテリーの取り付け・取りはずし方	-20
5. 2 バッテリー保護機能	-21
5. 3 バッテリーについて	-21
5. 4 バッテリーの容量表示方法	-21
5. 5 表示の見かた	-22
5. 6 バッテリーの充電方法	-22
5. 7 充電表示ライトについて	-23
5. 8 バッテリーを長持ちさせるには	-24
5. 9 バッテリーの回収について	-24
5.10 充電器の点検・修理・保管について	-24

6. 運転・作業のしかた

6. 1 運転と停止	-25
6.1.1 運転のしかた	-25
6.1.2 発進のしかた	-26
6.1.3 停止のしかた	-27
6.1.4 表示ランプ(バッテリーランプ、警告ランプ)について	-27
6.1.5 警告ランプの対処方法	-28
6. 2 作業のしかた	-29
6.2.1 ハンドル調節のしかた	-29
6.2.2 抵抗棒の調節のしかた	-30
6.2.3 移動用車輪の調節のしかた	-31
6.2.4 耕うん幅の調節のしかた	-31
6. 3 移動のしかた	-32
6.3.1 車輪移動のしかた	-32
6. 4 持ち運びのしかた	-33
6.4.1 アンダートレーの装着	-33
6.4.2 ハンドルの折りたたみかた	-34
6.4.3 持ち運びのしかた	-34

7. 点検整備

7. 1 毎日の手入れ	-35
7. 2 長期間使用しない場合の手入れ	-36
7. 3 定期点検・点検箇所一覧表	-36
7. 4 ローターの点検・交換	-37

8. 保管時の手入れ

8. 1 日常の保管	-38
8. 2 長期の保管	-38
8. 3 長期保管後の使用	-38

9. 不調時の処置

9. 1 不調時の処置	-39
-------------	-----

10. 別販売品

10. 1 別販売品のご紹介	-40
10. 2 別販売品の使いかた	-40

11. 主要機能

充電式耕うん機 保証書

1. 安全作業のために

本機を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

1. 1 使用上のご注意

本機を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んで理解し、安全に活用してください。記号の説明については「安全にかかわる表示について」の説明を参照してください。

1.1.1 運転者の条件

⚠ 警告



このような人は、運転をしないでください。

- ・ 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、正常な運転操作ができない人
- ・ 18才未満の人
- ・ 妊娠している人
- ・ 酒気をおびた人

※誤操作しやすく傷害事故の原因になります。



作業に適した服装を着用してください。

はち巻き・首巻き・腰タオル・サンダルは厳禁です。作業帽・滑り止めのついた靴を着用し、保護メガネ等の作業に適した防護具などをつけてだぶつきのない服装をしてください。

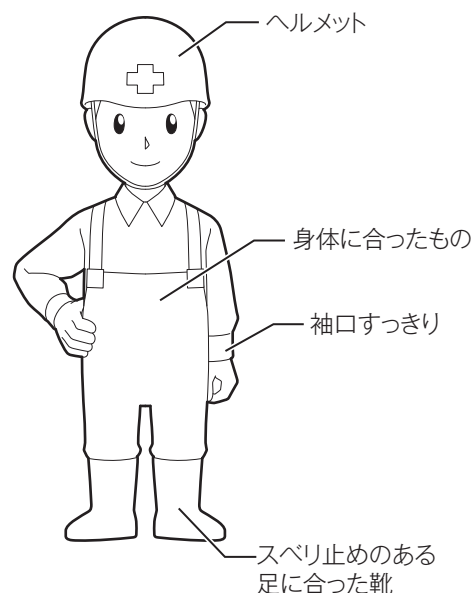
※本機に巻き込まれたり、滑って転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機を貸すときは正しい使い方を指導してください。

取り扱いの方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

※借りた人が、機械の運転に不慣れなため、傷害事故を引き起こすことがあります。



1. 安全作業のために

1.1.2 作業をする前に

⚠ 危険



バッテリー着脱は、主電源スイッチを「停止（OFF）」にしてから行ってください。
※守らないと、傷害事故を引き起こすことがあります。



作業をする前に、この取扱説明書を参考にして必要な点検は必ず行ってください。
特に運転スイッチ関係は、忘れないでください。点検を怠ると、性能が出せないばかりか、故障したり、電源が切れなくなることがあります。
※守らないと、死亡事故や傷害事故、本機の破損の原因になります。

⚠ 警告



主電源スイッチを「運転（ON）」にする前に、安全カバー類がはずされたままになっていないか確認してください。
※守らないと、本機に巻き込まれたりして重大な傷害事故を起こします。



無理のないゆとりある作業計画をたててください。
※守らないと、あせりなどから傷害事故を引き起こすことがあります。



主電源スイッチを「運転（ON）」にするときは、必ずレバーから手を放し、周囲の安全を確認してから行ってください。
※守らないと、傷害事故を引き起こす原因になります。



車軸にタイヤ類を装着して自走させることは、絶対にしないでください。
※守らないと、本機が破損したり傷害事故を引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意



水の当たる場所や高温多湿の場所、大きな石の多い場所、材木・切株等のある開墾地では使用しないでください。
※守らないと、傷害事故や本機の故障の原因となります。



発進するときは、周囲の安全を確認して、注意して発進してください。
特に子供に注意してください。
※守らないと、重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意



無線機等の電気製品や、高圧線や変電所等の電波を発するものの近くで作業しないでください。
※守らないと、本機が突然停止するおそれがあり、また、他の機器に影響を与えることもあります。



キャッシュカード等の磁気を利用したカード類や、時計等の磁気製品を充電器や本機に近づけないで下さい。
※守らないと、カード類や磁気製品が使えなくなることがあります。

1. 安全作業のために

1.1.3 作業中は

気象条件などに注意して、作業実施の判断、作業方法や装備の選択に十分配慮してください。

⚠ 警告



耕うん部などの回転部や、モータ等の熱くなる部分など、危険な箇所には、体や服を触れないでください。

※守らないと、重大な傷害事故を引き起こす原因になります。



- ・ 旋回する時は足もとに特に注意して、ローター部に巻き込まれないようにしてください。

- ・ 石がかみこんだり草が巻きついてローターが停止したときは、主電源スイッチを「停止 (OFF)」にして、バッテリーを取りはずしてから異物を取り除いてください。

※守らないと、重大な傷害事故を引き起こす原因になります。



- ・ 傾斜地で作業する場合、転倒やスリップをしないようバランスに十分注意してください。

- ・ 本機は、前照灯を備えていませんので、夜間作業は絶対に行わないでください。



- ・ あぜを横断するときは、いったん停止して、あぜと直角に走行してください。

- ・ あぜの高さが爪軸の高さを越えるほ場の出入りでは特に、作業者ご自身が滑ったりしないよう、足場を十分確認しながら移動してください。

※守らないと、衝撃で本機を破損させたり、スリップや転倒し傷害事故を起こすことがあります。

⚠ 注意



作業中は周りの人（特に子供）に注意してください。

作業を開始するときは、周囲の安全を確認し、特に補助者とともに作業するときは、声をかけて合図してから行ってください。

作業中は、作業者以外の人を本機に近づけないでください。

※守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機から離れるときは、「平らな場所」を選び、主電源スイッチを「停止 (OFF)」にし、バッテリーを抜いてください。

やむをえず坂道で本機を停止させる場合は、本機前方を坂道の下方向へ向けて停止させないでください。

※守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



ローターに石等がかみこんだ場合は、主電源スイッチを「停止 (OFF)」にしバッテリーを取りはずした後、爪をはずして取り除いてください。

※爪軸側から無理に回すと故障します。

1. 安全作業のために

1.1.4 トラックや自動車への積み降ろし

⚠ 警告



本機を運搬するときは、主電源スイッチを「停止 (OFF)」に、バッテリーを抜いてください。また、荷台からはみ出さないようにしてください。

※守らないと、転落事故を引き起こすおそれがあります。



積み込むトラックや自動車は、エンジンを止め、変速をオートマチック車は「P」、ギヤミッション車は「R」または「1 速」にし、駐車ブレーキをかけてから行ってください。

※守らないと、積み・降ろし時、トラック等が動いて転落事故を引き起こすおそれがあります。



トラックに積み降ろしをするときに、アユミ板は使用しないでください。

※守らないと、耕うん部がアユミ板に喰い込んで転落事故を引き起こすおそれがあります。



トラックや自動車へ持ち上げるときは、ハンドルの固定ノブが確実に締まっていることを確認し、折りたたんでいる場合はフロントグリップとリヤグリップを持って運んでください。絶対にその他の箇所を持って運ばないでください。

※守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



トラックや自動車で運搬するときは、耕うん部が動かないように車止めの効果のあるもので動きを抑え、さらに本機が転倒しないように、ハンドルもしくは抵抗棒をロープ等で必ず荷台に固定してください。また、運搬中は急発進・急旋回・急ハンドル操作をしないでください。

※守らないと、衝撃で本機を破損させたり、転落事故を起こすことがあります。

1. 安全作業のために

1.1.5 バッテリーの取扱い

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリー以外を使わないでください。
 - ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）も使用しないでください。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
 - ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
9. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 本機、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
10. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
12. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
13. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

1. 安全作業のために

⚠ 注意

1. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 2. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
 - ・ バッテリーを、周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
 3. 注意深く手入れをしてください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 4. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
 - ・ コードを熱、油、薬品、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 5. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 6. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 7. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。
 - ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

1. 安全作業のために

1.1.6 点検・整備

⚠ 危険



点検・整備は必ずバッテリーをはずし、主電源スイッチを「停止（OFF）」にしてから行ってください。

※守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



点検・整備は必ずモータを止め、モータ等の熱くなる部分が完全に冷えてから行ってください。

※守らないと、ヤケドや傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告



本機のご使用の前後に、日常の点検・整備を行うほか、定期的に点検整備を行って常に安全な状態に保つようにしてください。

※守らないと、故障や事故の原因になります。



指定以外のアタッチメントの取り付けや、改造は絶対にしないでください。

※守らないと、故障や事故の原因になります。



点検・整備は皮手袋などの丈夫な手袋を着用し、適正な工具を正しく使用して行ってください。

※守らないと、整備中の傷害事故や、整備不良による思わぬ事故を引き起こすことがあります。



点検・整備するときは、地面が平坦で硬く、明るく広い場所で行ってください。

※守らないと、故障・傷害事故のおそれがあります。



点検・整備するときは、常に本機のバランスに気をつけてください。特に前方向には転倒しやすいので、前方へ力をかけるときは、転倒しないように十分注意をして下さい。

また、本機と地面の間に足・指を挟まないように注意してください。

※守らないと、本機を破損させたり、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



ローターの装着が終わったときは、指定の場所に確実に装着されているか、スナップピンがしてあるかどうか確認してください。

※守らないと、ローターがはずれたりして重大な傷害事故の原因となります。



点検・整備で取りはずした安全カバー類は、必ず元の通りに取り付けてください。

※守らないと、本機に巻き込まれたりして、傷害事故を起こします。



本機を傾けたり、ハンドルを折りたたんだ状態で、水洗いをしないでください。

※守らないと、故障の原因となります。



水洗いするときは、ハンドルの主電源スイッチ、スイッチレバー、ロックオフボタンには、水をかけないでください。

※守らないと、故障の原因となります。



水洗い時や本機を使用しないときは、必ずバッテリーをはずし、バッテリーカバーをして下さい。

※守らないと、故障・傷害事故のおそれがあります。

1. 安全作業のために

1.1.7 保管時は

⚠ 危険



長期保管する場合は、バッテリーを取りはずして保管してください。

※守らないと、火災の原因になることがあります。

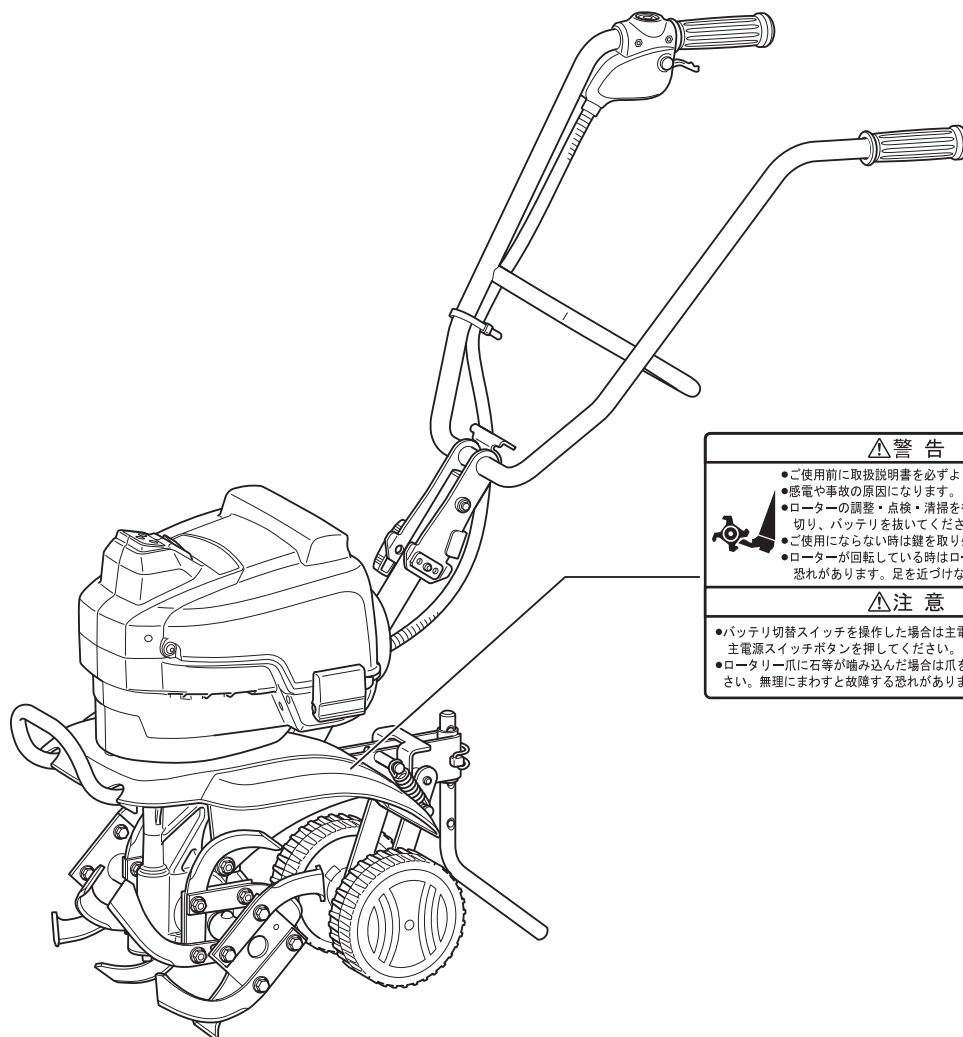


シートなどを本機にかけるときは、モータ等の熱くなる部分が完全に冷えてから行ってください。

※守らないと、火災の原因になることがあります。

1. 2 警告ラベルについて

1. 本機には、安全に作業していただくため、警告ラベルが貼付してあります。必ずよく読んで、これらの注意に従ってください。
2. 警告ラベルが破損したり、なくなったり読めなくなった場合は、新しいラベルを注文し貼り替えてください。
3. 汚れた場合は、きれいに拭き取り、いつでも読めるようにしてください。
4. 警告ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に警告ラベルもお買いあげ先へ注文してください。



⚠ 警告



- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 感電や事故の原因になります。
- ローターの調整・点検・清掃を行う時は必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。
- ご使用にならない時は鍵を取り外してください。
- ローターが回転している時はローターに巻き込まれる恐れがあります。足を近づけないでください。

⚠ 注意

- バッテリー切替スイッチを操作した場合は主電源が切れますので、主電源スイッチボタンを押してください。
- ローター一爪に石等が噛み込んだ場合は爪を外して取り除いてください。無理にまわすと故障する恐れがあります。

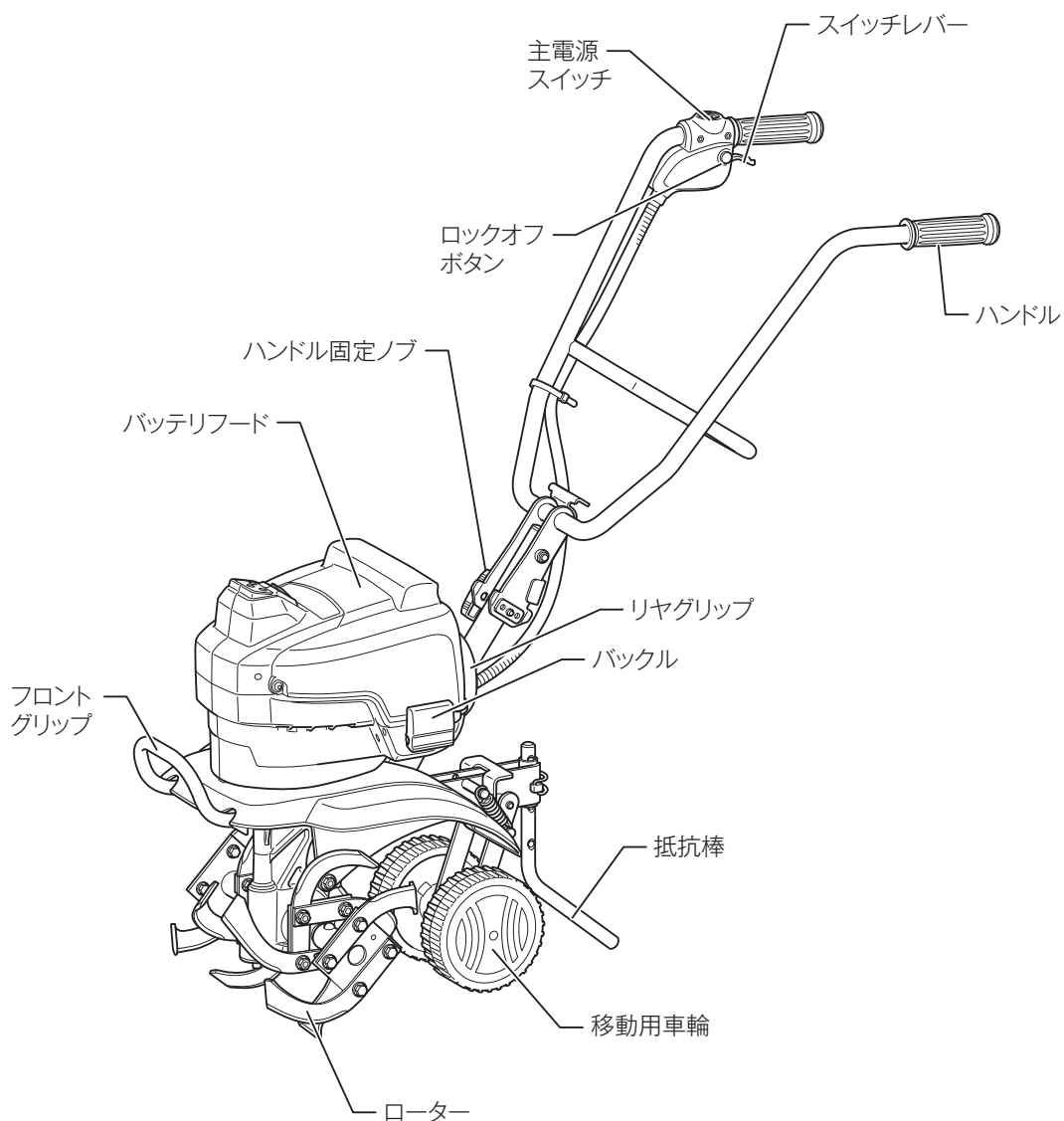
2. 保証とサービスについて

2. 1 商品の保証

この商品には、『保証書』が添付されています。詳しくは保証書をご覧ください。
ご使用中の故障やご不審な点、およびサービスに関するご用命は、お買い上げの販売店へお気軽にご相談ください。その際ネームプレートに記載の「型式名（モデル No）」・「製造番号」をお知らせください。

3. 各部の名称とはたらき

3. 1 各部の名称



3. 2 製品の組み合わせおよび標準付属品

標準付属品	モデル	MUK360DZ	MUK360DWB	MUK360DWBX
バッテリー		×	○ BL3622A	○ BL3622A (2 個)
充電器 (充電時間)		×	○ DC36WA (約 60 分)	○ DC36WA (約 60 分)
アンダートレー		○	○	○
バッテリーカバー		×	○	○ (2 個)

3. 各部の名称とはたらき

3. 3 開梱後の組立について

⚠ 警告

傷害事故防止のために

- ・ 本機は平坦な場所に置いてください。
- ・ ハンドルをセットするときは、指の挟み込みに注意してください。
- ・ 移動車輪の上げ下げはバネの力で作動するので、衝撃による打撲や指の挟み込みに注意してください。

1. 梱包箱からの取り出し 各仕様共通の梱包部品

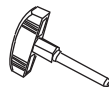
充電式耕うん機本体



抵抗棒



ハンドル固定ノブ



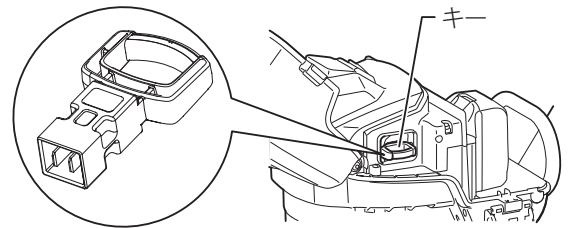
パイプピン
(抵抗棒位置決め用)



皿バネ

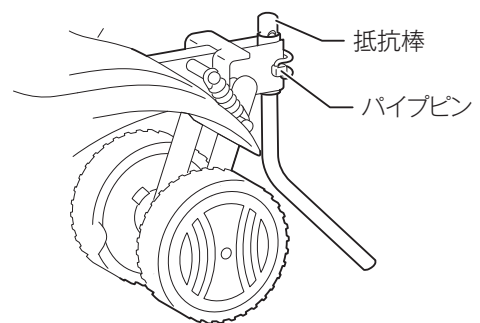


- ・ キー
キーを本機からはずしておくと、本機が作動しないようにすることができます。
保管時や本機から離れるときは、キーを抜いてください。
作業時はキーを本機に取り付けた状態にしてください。



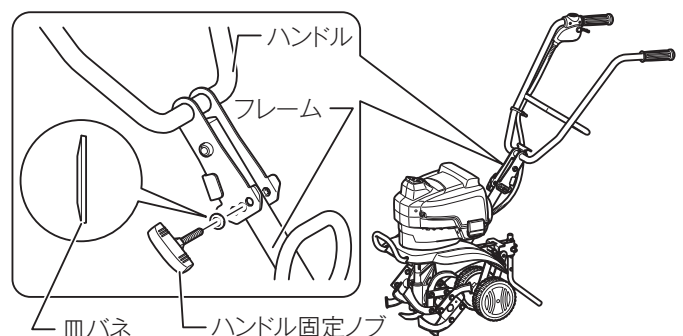
2. 組立について

- ①本機を取り出し、平坦な場所に置く。
- ②抵抗棒を仮にヒッチ部に挿入しパイプピンで位置決めをする。
- ③ハンドルを図の位置にし、ハンドル固定ノブでフレームに固定します。この時ハンドル固定ノブとハンドルの間に皿バネを入れてください。



注

- ・ ハンドル固定ノブは必ずフレームに貫通させて固定してください。
- ・ 固定ノブとハンドルの間に入る皿バネは膨らみが固定ノブ側にくるように組み立ててください。



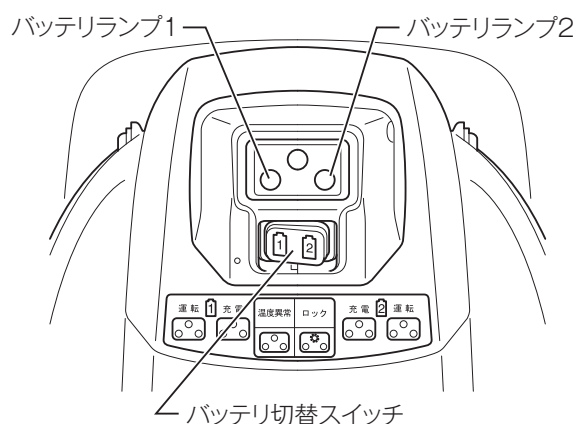
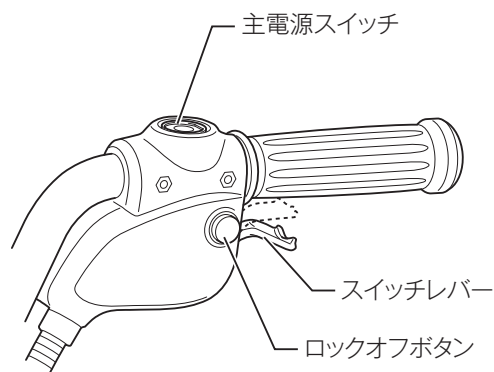
3. 各部の名称とはたらき

3. 4 各部のはたらき

3.4.1 主電源スイッチ

運転状態と停止状態を切り替えるスイッチです。「運転 (ON)」にするとランプが点灯します。

主電源スイッチを押し、「運転 (ON)」にするとバッテリーランプ1または2が点灯し、運転状態になります。再度主電源スイッチを押し、「停止 (OFF)」にするとバッテリーランプ1または2が消灯し停止状態になります。



3.4.2 ロックオフボタン

スイッチレバーのロックを解除するボタンです。

3.4.3 スイッチレバー

ローターを回し、作業を始めるスイッチです。

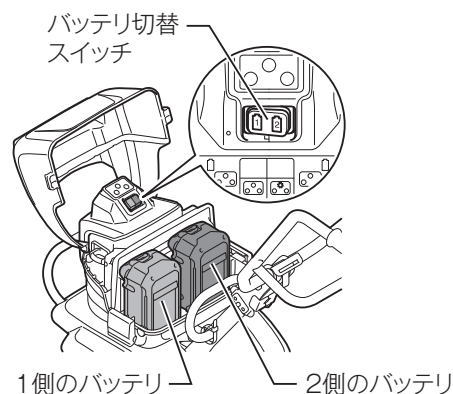
スイッチレバーを握る… ローターが回転します。

スイッチレバーを放す… ローターの回転が停止します。

3.4.4 バッテリー切替スイッチ

バッテリー切替スイッチにより電源とするバッテリーを選択することができます。

1 側に挿入したバッテリーを使用する場合は、1 を押します。2 側に挿入したバッテリーを使用する場合は、2 を押します。



注

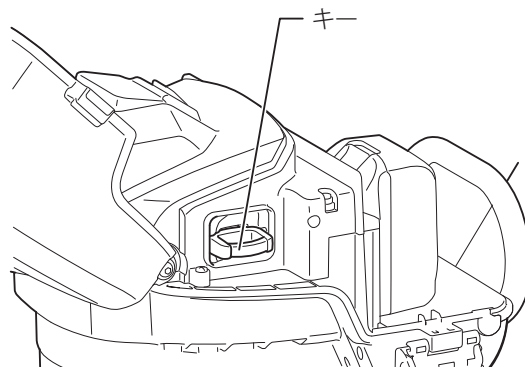
使用するバッテリーを切り替えるときは本機を停止した状態で行ってください。

3. 各部の名称とはたらき

3.4.5 キー

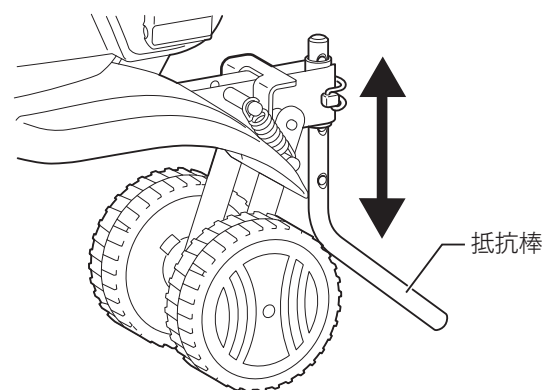
キーを本機からはずしておくと、本機が作動しないようにすることができます。作業時はキーを本機に取り付けた状態にしてください。

はずしたキーは子供の手の届かない所に保管してください。



3.4.6 抵抗棒

耕うん深さを調節したり、本機が前方へ走るのを防止する役目をします。耕うん深さは抵抗棒を上下に動かすことによって調節します。



3.4.7 移動用車輪

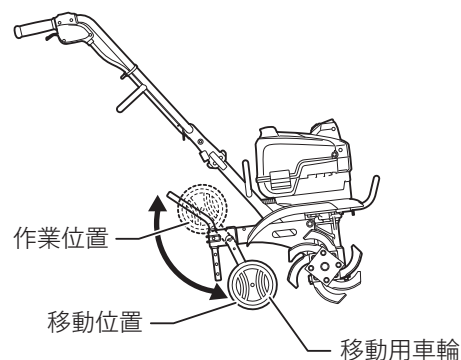
⚠ 注意

移動用車輪の位置を変えるときは、製品を停止した状態で行ってください。

- ・ 守らないと、傷害事故の原因となります。

移動をするときに使用します。

移動位置と作業位置とがあり、移動用車輪を軽い力で引く、もしくは押すことで位置を変えることができます。



4. 作業前点検

故障を未然に防ぐには、本機の状態をいつもよく知っておくことが大切です。作業前点検は毎日欠かさず行ってください。

⚠ 危険

必ず主電源スイッチを「停止（OFF）」にし、停止してから行ってください。

- ・ 守らないと、手や衣服が巻き込まれたり、はさまれたりするおそれがあります。

作業前に必ずバッテリーを充電してください。また、バッテリーを接続するときは、接続口が濡れていないか、バッテリーケースが破損していないかを確認してから接続してください。

- ・ 守らないと、感電したり、発火・破裂の恐れがあります。

スイッチレバーの作動確認をする際は、周囲を確認して行ってください。

- ・ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こす恐れがあります。

4. 1 点検項目

4.1.1 運転する前に

点検箇所	点検項目	処置	参照ページ
前日異常のあった箇所	再度異常がないか点検します。	異常の場合は「お買い上げの販売店」に相談してください。	—
警告ラベルの点検	はがれ、破損等ありませんか。	はがれ、破損等がある場合は新しいものに貼り替えてください。	13
バッテリー	バッテリーは充電しましたか。	充電してから作業を行ってください。	21

4.1.2 運転して

点検箇所	点検項目	処置	参照ページ
警告ランプ	主電源スイッチを「運転（ON）」にして、スイッチレバーを握ったとき緑色が点灯して運転できますか。	（赤色が点滅する場合） バッテリーを抜いてからローターの異物を取り除いてください。 （赤色が点灯する場合） モータの温度が冷めるのを待って運転してください。	28
バッテリーランプと警告ランプ	主電源スイッチを「運転（ON）」にしたとき、バッテリーランプの緑色のみが点灯していますか。	（バッテリーランプの緑色と警告ランプの赤色が点灯する場合） バッテリー残量がありません。充電してください。	28
スイッチレバー	レバーを離したとき、ローターの回転が停止しますか。	停止しない場合は「お買い上げの販売店」に相談してください。 主電源スイッチを押し、「停止（OFF）」にしてください。	26

5. バッテリー・充電器について

⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

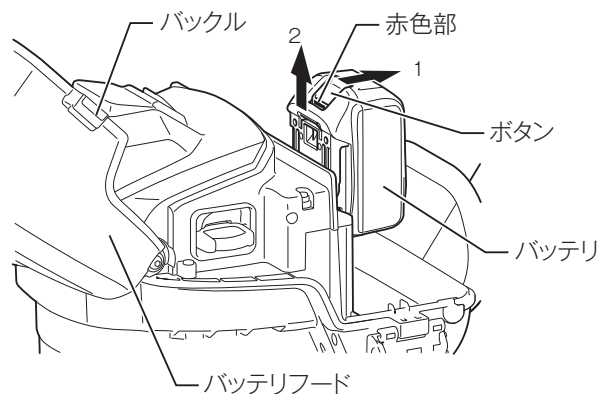
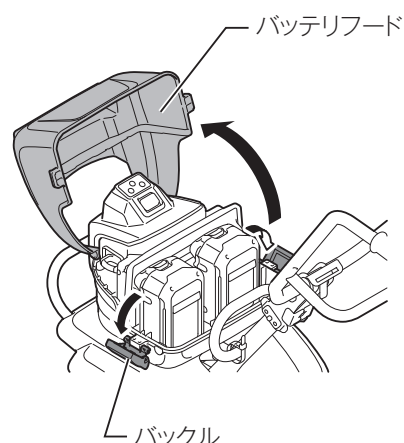
- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

⚠ 注意

バッテリーフードを閉じる時に指を挟まないように注意してください。

5. 1 バッテリーの取り付け・取りはずし方

- ・ バックル（2個）をはずし、バッテリーフードを開けます。
- ・ バッテリーを本機から取りはずす時は、1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら2. スライドさせると取りはずせます。
このとき、片手でバッテリーが取りはずしにくい場合は、両手でバッテリーを保持しながら取りはずしてください。
- ・ 取り付ける時は逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。
- ・ バッテリーフードを閉めて、バックルをはめます。



5. バッテリ・充電器について

5. 2 バッテリ保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。

本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

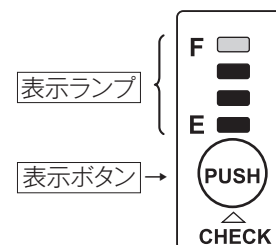
- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチをはなし、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

5. 3 バッテリについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動くことがありますので注意してください。）ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

5. 4 バッテリーの容量表示方法

- ・ バッテリーの表示ボタンを押すと、表示ランプが約3秒間点灯してバッテリーの残容量を表示します。



例) 45%~70%表示時

注

- ・ 最下位の表示ランプ（E 表示の横）のみ点滅する場合、もしくは全ての表示ランプが点灯しない場合はバッテリーの残容量が少なくなっているため、工具が作動しません。この場合はバッテリーを充電するか、充電済のバッテリーに交換してください。
- ・ 充電完了しても表示ランプが2個以上点灯しない場合、バッテリーの寿命です。
- ・ 表示ランプの上位2つと下位2つが交互点灯する場合はバッテリーが故障している恐れがあります。お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 工具使用中、使用直後はやや少なめに表示されます。

5. バッテリ・充電器について

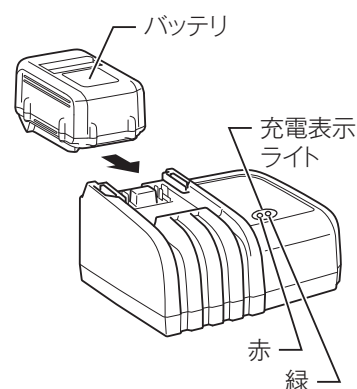
5. 5 表示の見かた

表示ランプ ■:点灯 □:消灯 ■□:点滅	容量
E ■■■■ F	70%~100%
■■■■	45%~70%
■■■□	20%~45%
■■□□	0%~20%
■□□□	充電してください。
■■■□ ↑ ↓ □□■■	故障の可能性があります。

※容量表示はバッテリーの使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。

5. 6 バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと、充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
4. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



5. バッテリー・充電器について

5. 7 充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
 	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
 	待機中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。適度な温度になると自動的に充電開始します。
   	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0～80%を示します。 充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80～100%を示します。
 	充電完了「緑 1 個」点灯
 	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。

注

- ・ DC36WA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。
このようなときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ 購入後、初めて充電する場合や、1 年以上放置されたバッテリーを充電する場合は、充電時間が 2 時間以上かかることがあります。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
 - ×充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - ×バッテリーを挿入しても表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない。
(表示ライトが「緑」に変わらない。)
- ・ バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。
バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

5. バッテリ・充電器について

5. 8 バッテリを長持ちさせるには

- ・ 本機の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電して保管することをおすすめします。

5. 9 バッテリの回収について

- ・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

5. 10 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
- ・ 修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

6. 運転・作業のしかた

⚠ 注意

本機は電気部品を多く使用しています。

雨のときや水がかかる場所での使用はしないでください。

- ・ 正常な運転ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転前には必ず作業前点検を行ってください。

- ・ 正常な運転ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

6. 1 運転と停止

6.1.1 運転のしかた

⚠ 警告

運転するときは、周囲の安全を確認してから行ってください。

- ・ 急発進することがあり、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

運転するときは、ローターの近くに立たないでください。

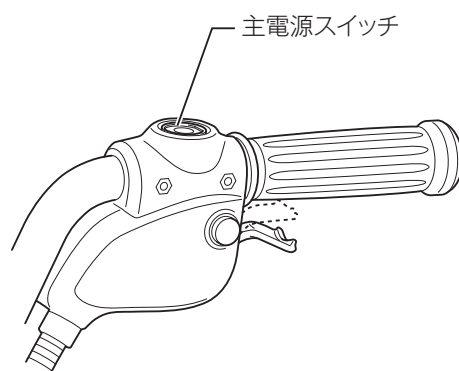
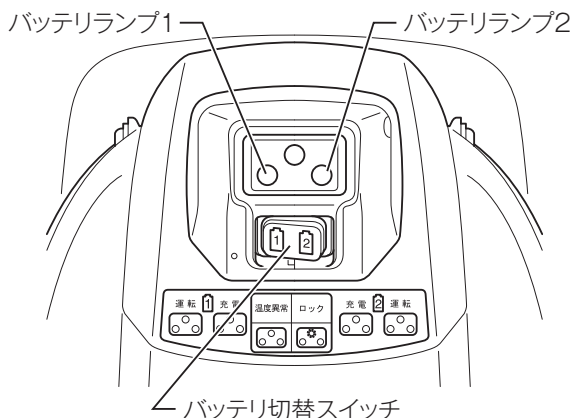
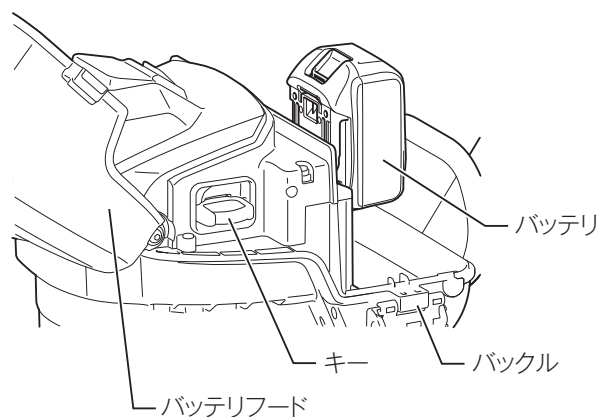
- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

バッテリー切り替えスイッチを操作するときは、本機を停止させてから行ってください。

- ・ 故障の原因になります。

運転要領

1. 本機のバッテリーフードを開け、バッテリーを1個または2個挿入します。このとき、キーが取り付けられているか確認してください。
2. バッテリーフードを閉じ、バックルで固定します。
3. バッテリーを1個挿入した場合、バッテリーを挿入した側のバッテリー切替スイッチを押します。バッテリーを2個挿入した場合、どちらか一方のバッテリー切替スイッチを押します。
4. 主電源スイッチを押し、「運転 (ON)」にします。
5. バッテリーランプが緑色に点灯すると運転することができます。



6. 運転・作業のしかた

6.1.2 発進のしかた

⚠ 警告

土の硬いところでは、耕うん爪が土に入りきらず本機が前方に飛び出す（ダッシング）場合があります。ハンドルをしっかりと持ち、ハンドルを押し下げて抵抗をかけゆっくりと耕うんしてください。

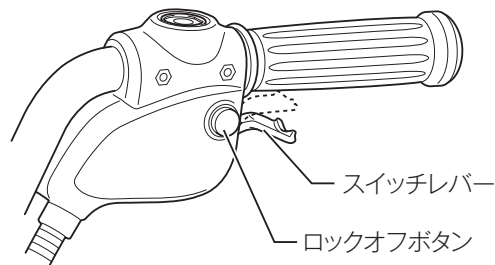
- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意

発進させるときは、ハンドルをしっかりと握り、周囲の安全を確認し、人（子供）を近づけないでください。

- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くとローターが回り、離すとローターは止まります。スイッチレバーを離すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。ロックオフボタンを押さない状態でもスイッチレバーは引けますがロックオフ機構が働きスイッチは入りません。



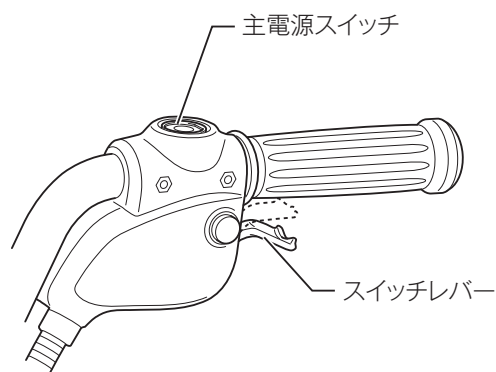
補足

- ・ ハンドルを押し下げ、抵抗棒を土中に突っ込み抵抗をかけながら耕うんします。
- ・ 土の硬さによりハンドルを上下させ、抵抗棒の深さを調節しながら耕うんします。
- ・ ハンドルを押し下げ抵抗棒を深くすると深く耕うんできます。
- ・ ハンドルを持ち上げ抵抗棒を浅くすると浅く耕うんできます。

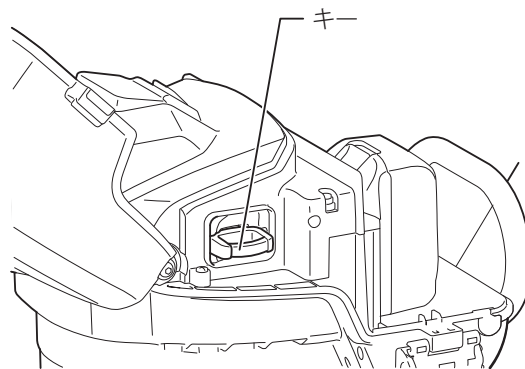
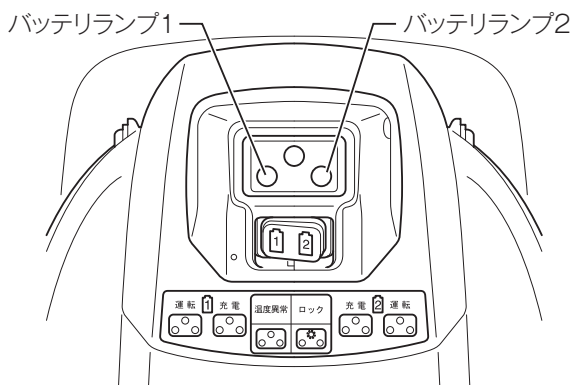
6. 運転・作業のしかた

6.1.3 停止のしかた

1. スイッチレバーから手を放してください。



2. 主電源スイッチを押し、「停止 (OFF)」にします。
3. バッテリーランプが消えるのを確認してください。



補足

- ・ 本機から離れるときは、キーを抜いてください。
- ・ 主電源スイッチが入っている状態で、1分間操作がないと自動的に電源が切れます。再び使用するときは、主電源スイッチを押し、「運転 (ON)」にしてください。

6.1.4 表示ランプ (バッテリーランプ、警告ランプ) について

⚠ 警告

- ・ 使用時にバッテリー切替スイッチを操作しないでください。
- ・ バッテリー切替スイッチを切り替えると主電源スイッチが「停止 (OFF)」になります。再び本機を動かすには主電源スイッチを押し、「運転 (ON)」にしてください。
- ・ 2個のバッテリーが本機に挿入されている場合、バッテリー切替スイッチで使用するバッテリーを切り替えることができます。
- ・ 表示ランプは、No.1またはNo.6を表示します。
- ・ バッテリーが1個だけ本機に挿入されている場合、バッテリー切替スイッチを押して、挿入されている側のバッテリーを選択してください。
- ・ もし、バッテリーが挿入されていない側を選択した場合、表示ランプはNo.2またはNo.5を表示します。
- ・ 問題が発生した場合、警告ランプが点灯または点滅し、自動停止します。本機は約10秒後に自動的に電源が切れます。

6. 運転・作業のしかた

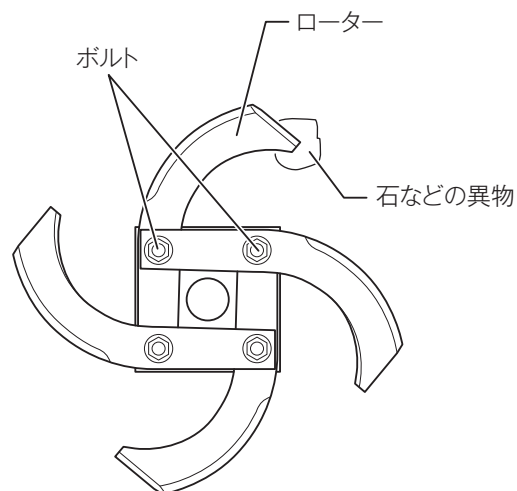
6.1.5 警告ランプの対処方法

■警告ランプが赤色に点灯または点滅したとき

警告ランプが赤色に点灯または点滅すると自動停止します。

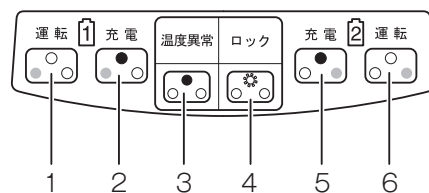
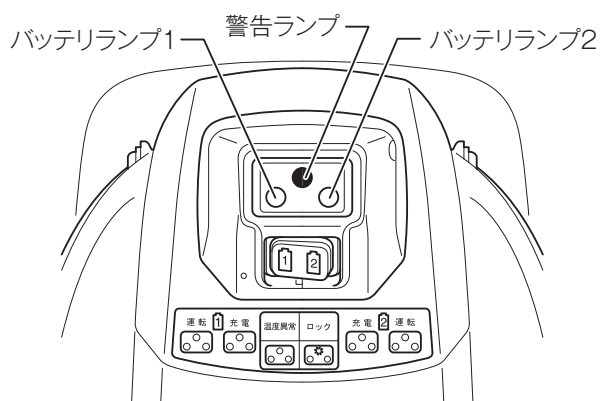
①ローター部に過大な抵抗がかかっています。(警告ランプ点滅 No.4 ロック)

耕うんが深すぎたときや、ローターに石、草等が巻き込まれている。このときは石などの異物を取り除いてください。



②連続運転によりモータの温度が高くなっています。(警告ランプ点灯 No.3 温度異常)

1. 主電源スイッチを「停止 (OFF)」にして、警告ランプが消灯したことを確認してからバッテリーを抜いてください。
2. ハンドルを持ちローターを地面から浮かせ、異物がかみこんでいないか確認してください。
 - ・ローターに異物がかみ込んでいる場合はバッテリーを抜いてから取り除いてください。
 - ・取り除く場合は、ローターを無理に回さないでください。ハンマー等で無理に爪をたたくと、故障するおそれがあります。
 - ・石がかみこんだ場合は、ローターをはずして取り除いてください。(ボルトをはずすと簡単にできます。)
3. 主電源スイッチを「運転 (ON)」にし、ランプの色が緑色に点灯したことを確認してください。変わらない場合は、しばらく時間をおいてから(15 ~ 20 分)、再度確認してください。



③バッテリーの残量がありません。(警告ランプ+バッテリーランプ1または2点灯 No.2 充電またはNo.5 充電)

赤色が点灯するとローターが停止します。

バッテリーランプ1または2を表示していても、バッテリーの残量が少なくなっている場合がありますので、そのときは充電してください。

1. 主電源スイッチを「停止 (OFF)」にしてください。
2. バッテリーを取りはずし、充電してください。

⚠ 警告

各部を調節するときは、主電源スイッチを「停止 (OFF)」にし、バッテリーを取りはずしてから行ってください。ローターの異物(石、草等)を取り除くときは、必ず手袋を使用してください。

- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

6. 運転・作業のしかた

6. 2 作業のしかた

⚠ 警告

各部を調節するときは、主電源スイッチ「停止（OFF）」にし、バッテリーを取りはずしてから行ってください。

- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

各部を調節するときは、本機のバランスに注意しながら行ってください。

- ・ バランスが不安定になり、転倒による傷害事故を起こすおそれがあります。

各部を調節するときは、必ず手袋を使用してください。

- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

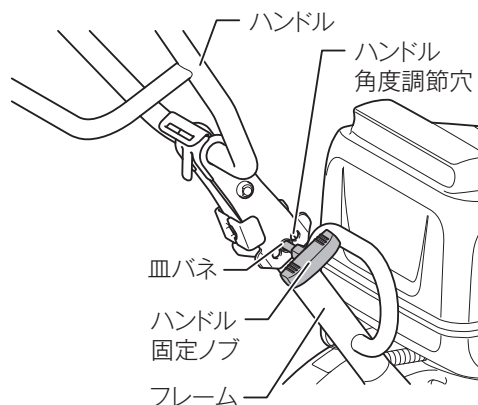
⚠ 注意

ハンドル調節時に、ハンドルとフレームの間に指を挟まないように注意してください。

6.2.1 ハンドル調節のしかた

作業者の体格や作業状態にあわせてハンドル角度を3段階に調節することができます。

1. 片手でハンドルを持ち、ハンドル固定ノブをゆるめ、抜き取ります。
2. フレーム穴と好みのハンドル角度調節穴を合わせます。
3. ハンドル固定ノブを回して、ハンドルを締め付けます。
4. この時ハンドル固定ノブとハンドルの間に、膨らみが固定ノブ側にくる方向に皿バネを入れてください。



補足

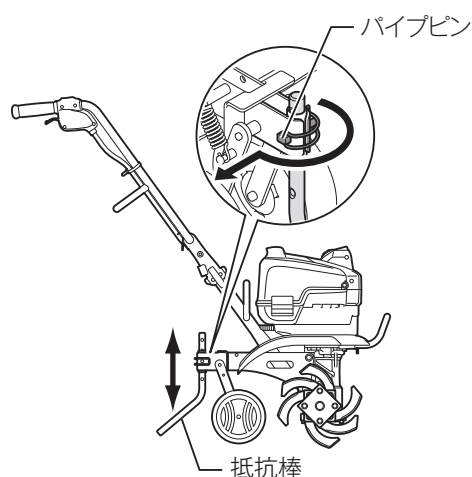
- ・ ハンドル調節は、平たんな場所で行ってください。
- ・ ハンドル固定ノブをゆるめたときに、本機のバランスをくずさないよう、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。
- ・ ハンドル固定ノブをゆるめると、ハンドルは落ちてきます。必ずハンドルを持って調節してください。

6. 運転・作業のしかた

6.2.2 抵抗棒の調節のしかた

耕うん深さは、抵抗棒を上下させることで調節できます。

1. 抵抗棒を止めているパイプピンを引き抜きます。
2. パイプピンを差す穴位置を変更することで耕うん深さを調節できます。パイプピンが確実にピン穴に挿入されていることを確認してください。



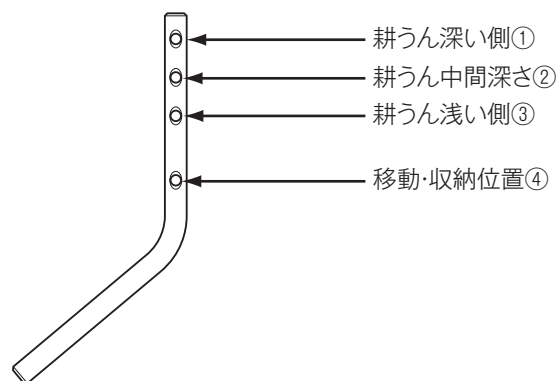
調節要領

耕うん深い側① 耕うん深さが深くなる。

耕うん中間深さ② 耕うん深さ中間

耕うん浅い側③ 耕うん深さが浅くなる。

移動・収納位置④ 移動・収納用 (P32 参照)



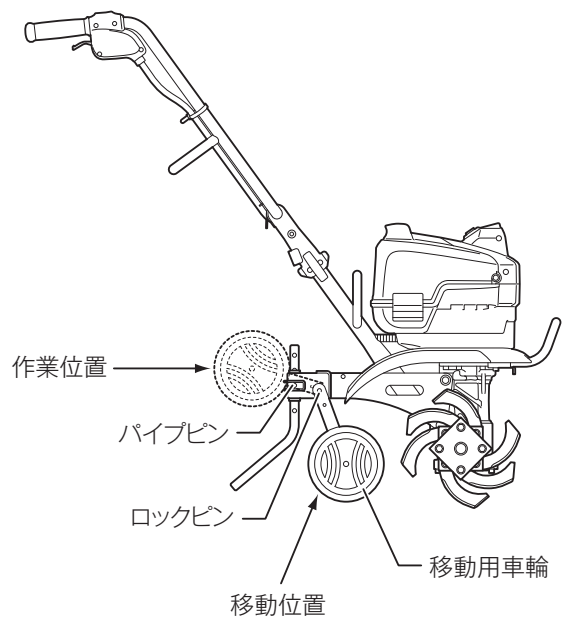
補足

- ・ 硬いほ場で本機が前に進みすぎるときは、抵抗棒を耕うん深い側①にします。
- ・ 柔らかいほ場でローターが沈んでしまうときは、抵抗棒を耕うん浅い側③にします。
- ・ 移動するときには、移動・収納位置④にセットしてください。

6. 運転・作業のしかた

6.2.3 移動用車輪の調節のしかた

本機を移動させるときに使用します。手で上げ下げし、位置を変更することができます。



⚠ 警告

移動用車輪の上下はバネの力で作動するので、衝撃による打撲や指の挟み込みに注意してください。

補足

- ・ 移動用車輪を調節するときは、本機のバランスをくずさないように、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。

⚠ 注意

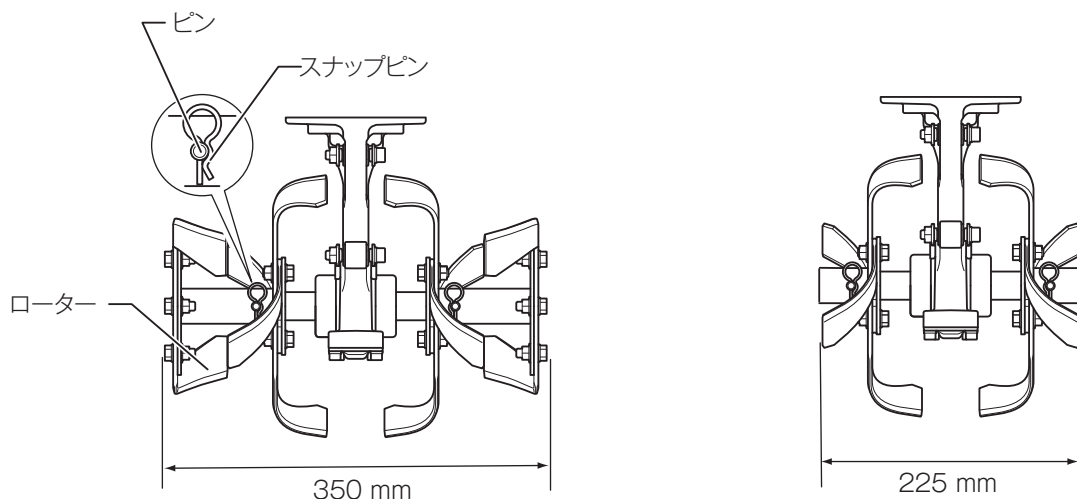
各部を調節するときは、必ず手袋を使用してください。

- ・ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

6.2.4 耕うん幅の調節のしかた

作業する幅に合わせて、ローターを分割することができます。ローターの組み立て状態と耕うん幅の関係は、下図のようになります。

スナップピンをはずしピンを抜くことにより外側のローターをはずすことができます。作業する幅に合わせて、耕うん幅を調節してください。



6. 運転・作業のしかた

6. 3 移動のしかた

⚠ 警告

必ず主電源スイッチを切ってから、行ってください。

- ・ ローターが不意に回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

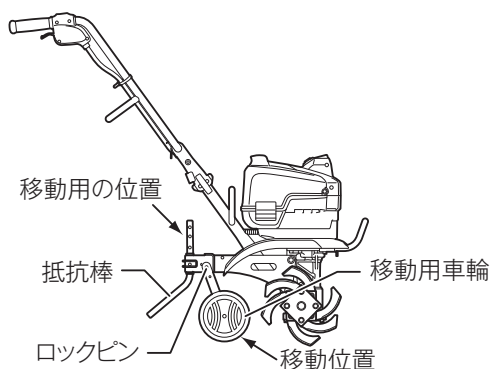
6.3.1 車輪移動のしかた

⚠ 注意

移動用車輪を使用するときは、地面の傾斜で本機が傾き、移動用車輪が浮き上がらないようにしてください。

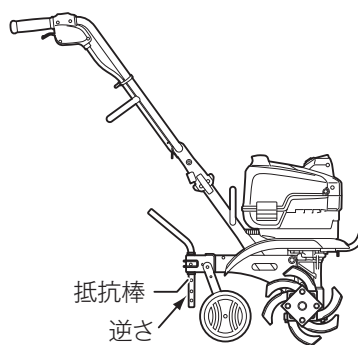
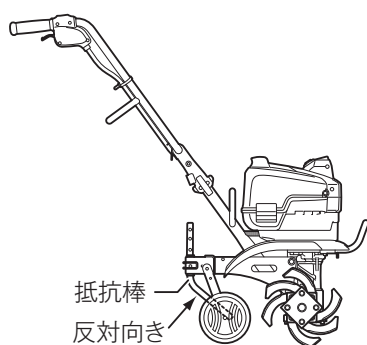
- ・ 本機が転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1. 車輪を移動の位置にします。

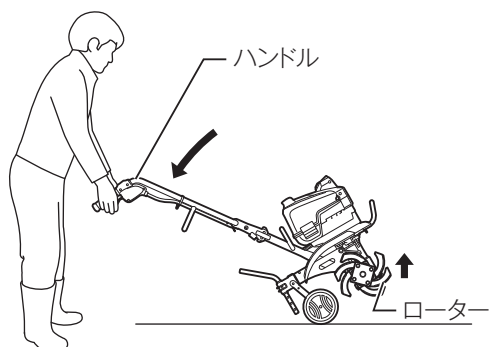


2. 抵抗棒を移動用の位置に合わせてください。

抵抗棒が気になる場合は、反対向き、もしくは逆さに付けてください。



3. ハンドルを押し下げ、ローターを浮かせて移動してください。



6. 運転・作業のしかた

6. 4 持ち運びのしかた

⚠ 注意

本機を持ち上げるときは、ハンドルを折りたたみフロントグリップとリヤグリップを持って運んでください。

- ・ 他の箇所を持つと、破損や変形をするおそれがあります。

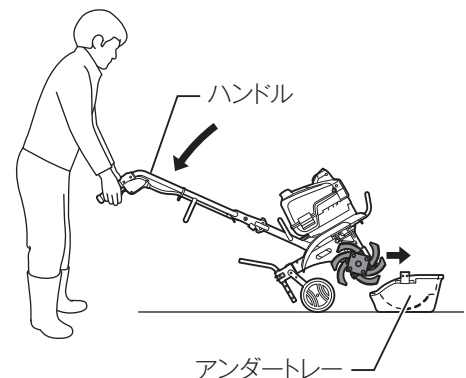
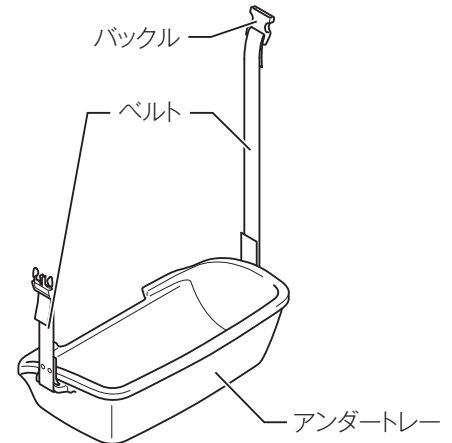
6.4.1 アンダートレーの装着

本機は、運搬時や収納時に汚れを防いだり、床を傷めないようにアンダートレーが装着できます。

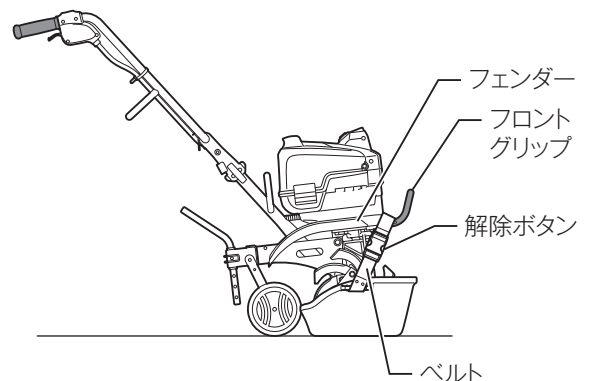
1. 移動用車輪と抵抗棒を移動位置にし、移動できる状態にします。
アンダートレーの広い口を手前に向け、ハンドルを押し下げローターをアンダートレーの中へ入れます。

補足

- ・ アンダートレーへ入れるときは、ローターをアンダートレーの奥へ当てるようにすると入れやすくなります。
- ・ 抵抗棒が気になる場合は、反対向き、もしくは逆さに付けてください。



2. アンダートレーに入れた後は、左右ベルトで固定してください。
図のようにフロントグリップの根元のフェンダーにベルトをかけ、バックルで固定します。ベルトがゆるい場合はベルト調節部で調節してください。取りはずすときはバックルの解除ボタンを押してください。



6. 運転・作業のしかた

⚠ 注意

ハンドルの折りたたみ時に、ハンドルとフレームの間に指を挟まないように注意してください。

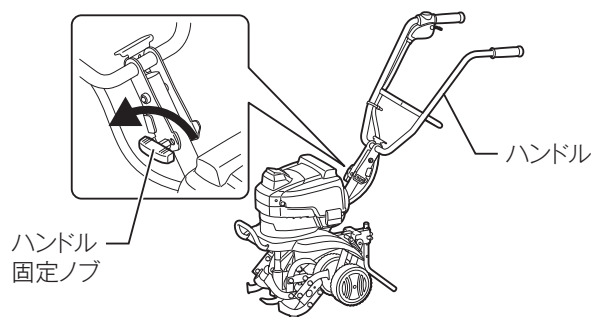
6.4.2 ハンドルの折りたたみかた

本機は、運搬や収納しやすいように、ハンドルが折りたためるようになっています。

1. 片手でハンドルを持ち、ハンドル固定ノブをゆるめ、抜いてください。

補足

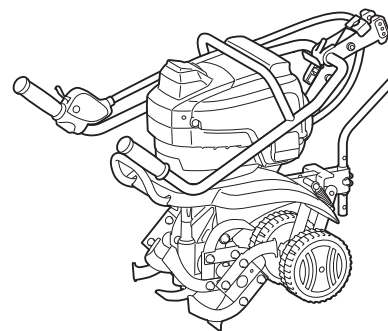
- ・ ハンドルが急に下がることもあるので注意してください。



2. ハンドルを前方へ折りたたみます。

補足

- ・ ハンドルとハンドルフレームの間にコードを挟まないよう注意してください。
- ・ ハンドル固定ノブは元のネジ穴に軽く固定する等して、なくさないようにしてください。



3. 元に戻すときは、逆の手順で行ってください。

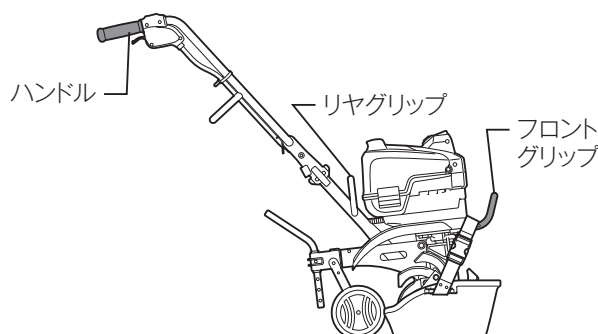
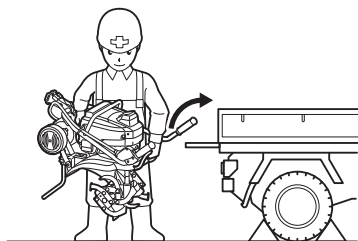
6.4.3 持ち運びのしかた

⚠ 危険

トラックや自動車へ積み込むときは、必ずバッテリーを取りはずし、バッテリーは日の当たらない涼しいところへ置いて運んでください。また、長時間車内に放置しないでください。

- ・ 発火・破裂し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

自動車への積み・降ろし等で、本機を持ち上げるときは、ハンドルを折りたたみ、フロントグリップとリヤグリップを持ってください。



7. 点検整備

定期的に点検整備を行ってください。

⚠ 警告

点検整備をするときは、(1) 本機を平たんな広い場所に置き、(2) 主電源スイッチを切り、バッテリーをはずしてから、安全を確認して行ってください。

- ・ 安全を確認せずに点検整備すると、傷害事故を引き起こすことがあります。

水洗い時や本機を使用しない場合は、必ずバッテリーをはずしバッテリーカバーをしてください。

- ・ 故障・感電のおそれがあります。

初期点検

最初のシーズンを終了したときは、必ず初期点検整備を実施してください。

初期点検整備は、本機の耐久性にとって大事な項目ですので「お買い上げの販売店」での点検、整備をおすすめします。

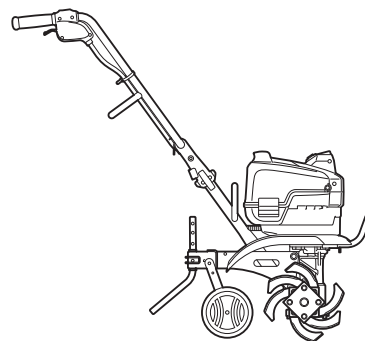
補足

- ・ 点検整備項目の中には、消耗品の扱いとなっている部品も含んでいます。交換が必要な部品は純正部品を注文してください。
- ・ 専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは、「お買い上げの販売店」へ問い合わせください。
- ・ 不要になったバッテリー等は、専門の処理業者、または「お買い上げの販売店」へ依頼して処理してください。

バッテリーを捨てたり放置すると、法令違反となり処罰されます。

7. 1 毎日の手入れ

- ・ 本機に付いた汚れ（土、草、ほこり等）を取り除いてください。
- ・ 本機を水平な状態に保ち、汚れをきれいに水洗いしてください。
- ・ 乾いた布できれいに拭いてください。バッテリー収納部などの内部に水が入った場合も、乾いた布できれいに拭いてください。



⚠ 警告

高圧洗浄機の洗浄ノズルを拡散にし、2 m 以上離して水洗いしてください。

- ・ 警告ラベル、注意ラベルの剥がれの恐れがあります。
- ・ ハンドルのスイッチ部の電気部品の故障の恐れがあります。
- ・ ミッションケースへの水の侵入によるギヤ・軸受等の機械部品の故障の恐れがあります。

高圧洗浄機の取扱説明書・ラベルに従って、正しく使用してください。

- ・ 人にケガをさせたり、機械の破損、損傷、故障の原因となります。

7. 点検整備

⚠ 注意

本機を傾けたり、ハンドルを折りたたんだ状態で、水洗いをしないでください。

- ・ スイッチ等の故障の原因となります。

水洗いするときは、ハンドルのスイッチ部（主電源スイッチ、ロックオフボタン、スイッチレバー等）を濡らさないように注意してください。

- ・ スイッチの故障の原因となります。

補足

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

7. 2 長期間使用しない場合の手入れ

長期（約 30 日間以上）の保管のページをよくお読みください。

7. 3 定期点検・点検箇所一覧表

○点検、補充、調整 △：清掃、洗浄 ★：「お買い上げの販売店」での交換・点検をおすすめします。

点検項目 \ 点検頻度			作業前	初期点検	初期点検後2年毎	備考	参照ページ
本体	運転スイッチの作動確認	点検	○	★	★		25
	各部ボルト・ナットのゆるみ	点検	○	★	★		—
	各ピン類の脱落確認	点検	○	★	★		31
	警告ランプの点灯確認	点検	○	★	★	警告ランプ	28
	キースイッチの作動確認	点検	○	★	★		27
	主電源スイッチの作動確認	点検	○	★	★		27
	各ラベルの損傷はがれ	点検	○	★	★		13
充電器	電源コードの損傷	点検	○	★	★		—
	表示ランプの点灯	点検	○	★	★		21
バッテリー	傷・割れ・変形の確認	点検	○	★	★		—
	各ラベルの損傷はがれ	点検	○	★	★		—

7. 点検整備

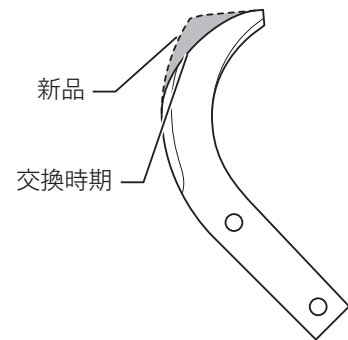
7. 4 ローターの点検・交換

交換時期

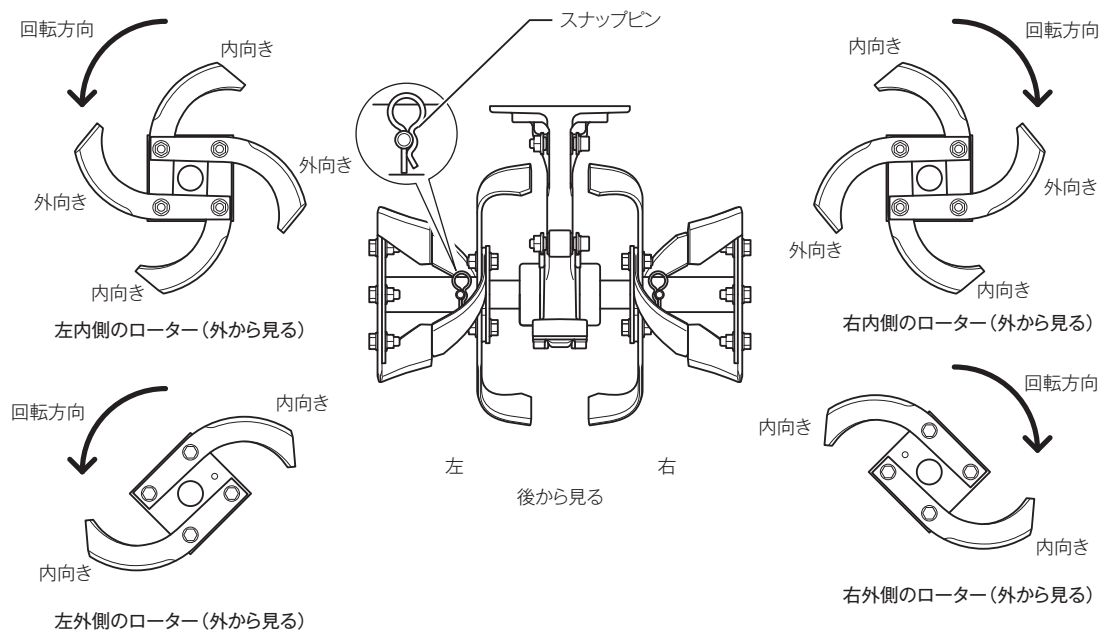
ローターは先端が摩耗し、十分に耕うんできなくなりましたら交換時期です。

補足

- ・ ローターの摩耗が約半分を超えたら交換時期です。効率の良い作業をしていただくために早めにお取替えください。
- ・ ローターの交換は純正のローターを使用してください。



ローターの組み方



ローターは2種類ありますので、向きを間違えないよう、上図のとおり組んでください。ローターは本機のシャフトにピンとスナップピンで固定してください。

補足

- ・ ローターは左右対称になるように組んでください。
- ・ スナップピンは抜け防止のため、上図の方向に取り付けてください。

8. 保管時の手入れ

⚠ 警告

水洗いおよび本機を使用しない場合、必ずバッテリーをはずしてください。

- ・ 故障・傷害を引き起こす可能性があります。

⚠ 注意

保管時や本機から離れる場合、キーを抜いてください。

8. 1 日常の保管

日常の保管および短期間の保管をする前に、下記の作業を行ってください。

1. 耕うん機はきれいに清掃してください。
2. 安定した水平な場所に保管してください。
3. 保管はできる限り屋内にしてください。（屋根があり、雨の当たらない場所）

8. 2 長期の保管

耕うん機を長い間（約 30 日以上）使用しない場合は、保管する前に下記の作業を行ってください。

1. 耕うん機はきれいに清掃してください。
2. 不具合箇所は整備してください。
3. 各部のボルト、ナットのゆるみを点検し、ゆるんでいれば締めてください。
4. 保管場所は、周囲に燃えやすいものがなく、雨がかからず湿度の少ない場所を選定しシートをかけるようにしてください。
5. バッテリーを取りはずしてください。バッテリーにはバッテリーカバーをかぶせてください。

8. 3 長期保管後の使用

長期保管後の再使用時は、特に次の内容に注意してください。

1. 作業前点検を確実に行ってください。
2. 必ずバッテリーを充電してから使用してください。

9. 不調時の処置

9. 1 不調時の処置

状況		原因	処置	参照ページ
主電源スイッチを押しても、バッテリーランプ、警告ランプともに点灯しない		キーを取り付けていない	キーを本機に取り付けてください	27
		主電源スイッチの故障	「お買い上げの販売店」に修理を依頼してください	—
バッテリー 1 個または 2 個挿入されている状態で、主電源スイッチを押したら、警告ランプとバッテリーランプが点灯する		バッテリー容量が少ない	キーをはずし、バッテリーを充電してください。	21
		バッテリーが正しく取り付けられていない	バッテリーをはずし、正しく取り付け直してください	20
		バッテリーランプ、警告ランプの故障	「お買い上げの販売店」に修理を依頼してください	28
スイッチレバーを引いてもローターが回転しない		主電源スイッチが押されていない	主電源スイッチを押してください	25
		ロックオフボタンが押されていない	ロックオフボタンを押しながら、スイッチレバーを引いてください	26
		キーを取り付けていない	キーを本機に取り付けてください	27
		スイッチの故障	「お買い上げの販売店」に修理を依頼してください	—
運転中、警告ランプとバッテリーランプが点灯する		バッテリー容量が少ない	バッテリーを充電してください	28
運転中に突然停止し、警告ランプが点灯または点滅	警告ランプが点灯の場合	耕うんが深すぎ、モータの温度が高い	耕うんの深さを浅くしてください	28
	警告ランプが点滅の場合	石などの異物がローターに挟まった	スイッチを切り、石などの異物を取り除いてください	28
ローターが停止しない		スイッチの故障	主電源スイッチを押し、「停止 (OFF)」にし、バッテリーを取り除いて、「お買い上げの販売店」に修理を依頼してください	—

10. 別販売品

10. 1 別販売品のご紹介

- ・ バッテリBL3622A(容量2.2 Ah) 部品番号：A-52261
- ・ 充電器DC36WA 部品番号：JPADC36WA
- ・ アンダートレー 部品番号：A-54025
- ・ バッテリコンバータ BCV01 部品番号：A-52320
- ・ バッテリコンバータ BCV03 部品番号：A-57255
- ・ バッテリBL3626(容量2.6 Ah) 部品番号：A-49965
- ・ 充電器DC36RA
- ・ ホルダ9-19 部品番号：196040-5

10. 2 別販売品の使いかた

バッテリコンバータ BCV01/BCV03 (別販売品)

- ・ バッテリコンバータに18 V バッテリBL1830 2 個を取り付ければ、36 V バッテリとして本機に取り付けて使用することができます。

取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本機にバッテリコンバータを取り付ける前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

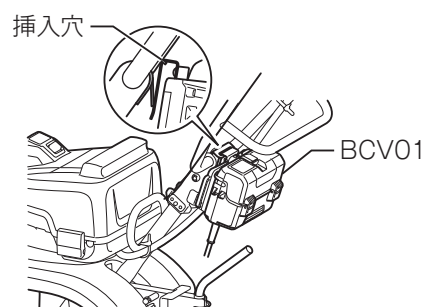
- ・ スwitchをいれたままバッテリコンバータを取り付けると急に回りだし、事故の原因になります。
- BCV01 を使用するときは、BCV01 のバッテリ側を体に装着しないでください。
- ・ 事故の原因になります。

BCV01 のコードは本機のホルダに取り付けてください。

- ・ 取り付けないとコード切断の原因になります。

バッテリコンバータ BCV01 の取り付け方

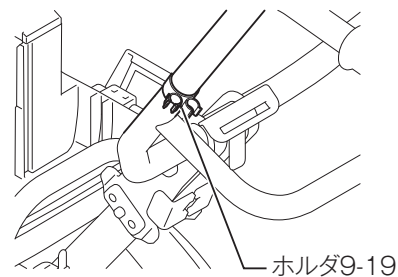
- ・ バッテリコンバータBCV01は図のように本機の挿入穴に通して取り付けます。



- ・ バッテリコンバータBCV01の取り付けには、必ず別販売品のホルダ9-19セット品をお求めください。
- ・ ホルダ9-19はバッテリコンバータBCV01の余ったコードを保持するため必要です。

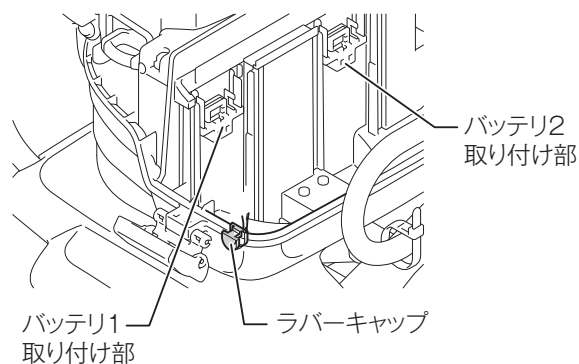
10. 別販売品

- ホルダ9-19はハンドル左の取り付け穴がある箇所に確実に取り付けてください。

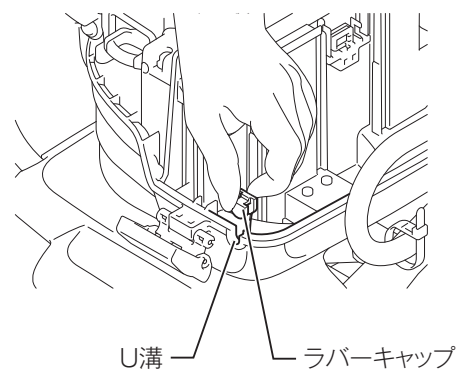


注

- ホルダ 9-19 を使用しないと、コードを耕うん爪に巻き込んで思わぬケガや本機の故障の原因となります。
- バッテリーコンバータBCV01はバッテリー 1 取付部に取り付けてください。



- 図のようにラバーキャップを上になんげ引っ張り、U溝部から取りはずしてください。

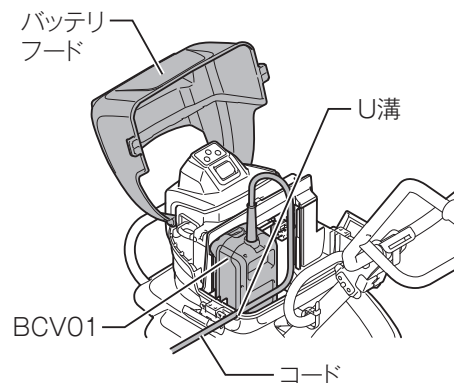


注

- ラバーキャップを強く引き過ぎると、接続部が破損しますので注意してください。

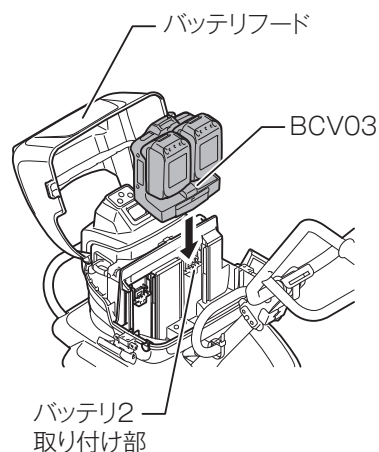
10. 別販売品

- ・ バッテリーコンバータBCV01の本機取付部から出ているコードは図のように上部で曲げてU溝から出してください。
- ・ バッテリーフードは左右のバックルで確実に固定してください。
- ・ 余ったコードはホルダ9-19に保持してください。
- ・ 取りはずし方は、取り付け方と逆の要領で行ってください。



バッテリーコンバータ BCV03 の取り付け方

- ・ バッテリーフードを開き、BCV03 を本機バッテリー2取り付け部に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。
- ・ バッテリーフードを閉じてください。
- ・ BCV03 を取りはずす時はBCV03 のボタンを押しながら、両手でBCV03 を抜いてください。



11. 主要機能

型式名		MUK360D
電動機		直流マグネットモータ
電圧		直流 36 V
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		BL3622A (容量 2.2 Ah)
充電器		DC36WA
	入力電圧	単相交流 100 V
	入力周波数	50-60 Hz
	入力容量	230 VA
	出力電圧	直流 36 V
	出力電流	直流 2.3 A
	充電時間	約 1.0 時間
耕うん部	爪軸	分割型
	爪	ナタ刃
	ローター径	245 mm
	耕うん幅	350 (分割時 225) mm
	変速段数	前進 1
	耕うん軸回転速度	正転 85 min ⁻¹
ハンドル調節		3 段
ハンドル折りたたみ		可能
本機寸法	全長	1119 mm
	全幅	488 mm
	全高	925 mm
質量		23.2 kg

推奨バッテリーアダプタ類

BCV01, BAP36N, BCV03

- ・ 詳細は各バッテリーアダプタ類の取扱説明書をご参照ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)

882622E6
IWT